

あomorい。

「Aomori Tosei」

のいいところ、
ちょっと覗いてみませんか？

Aomori Tosei



vol.2

青森県 東青地域 移住・交流促進別冊ガイドブック

青森市 平内町 今別町 蓬田村 外ヶ浜町

青森の東青地域～青森市・平内町・今別町・蓬田村・外ヶ浜町～に住み続ける

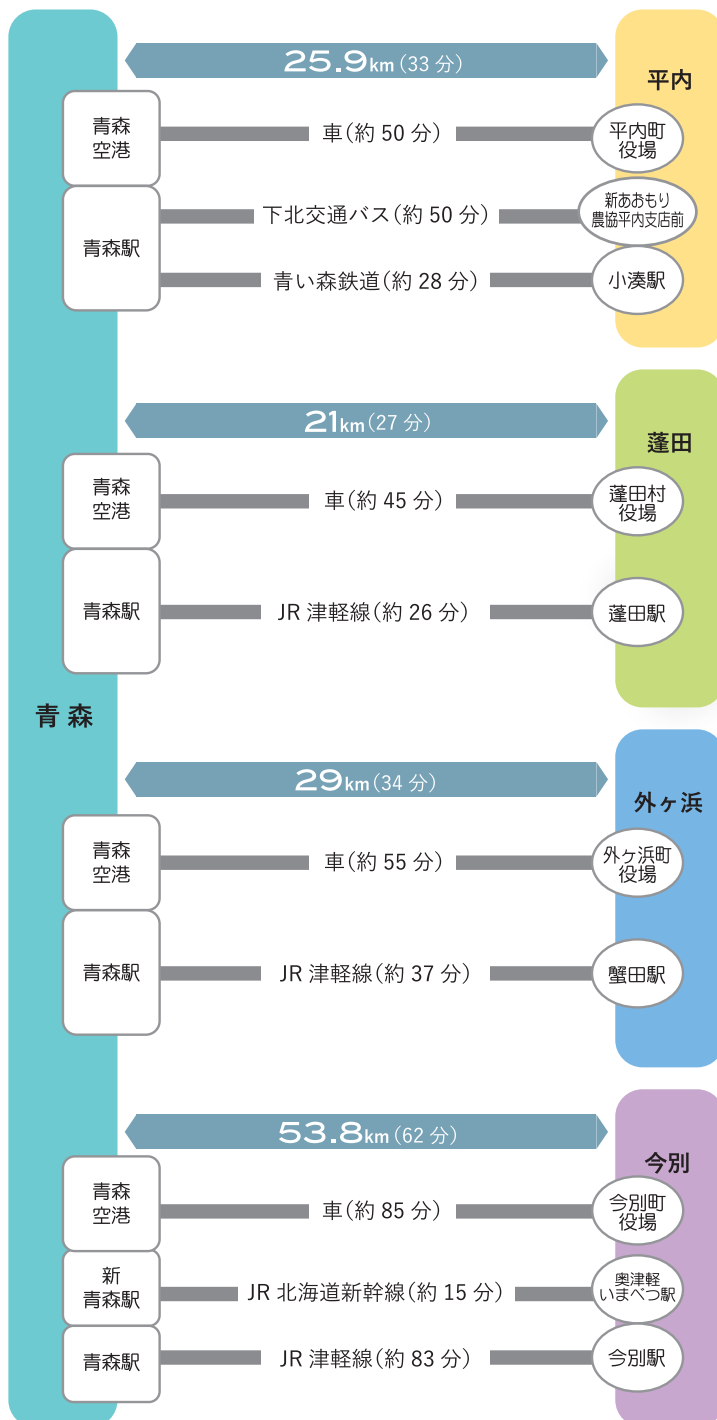
人たちひとりひとりの「すき。」

「すき。」にはそれぞれの思いがある。

「Aomori Tosei」のいいところ、ちょっと覗いてみませんか？

青森市と東青地域へのアクセス

(青森県庁から各町村役場までの距離と所要時間および青森空港・青森駅・新青森駅からの所要時間)



※各区間の所要時間は時刻表上の最速時間を参考としています。
※2020年11月30日時点の内容です。



青森 東青地域はこんなところです。

東青地域は、青森県の中心部に位置し、県庁所在地の青森市／平内町／今別町／蓬田村／外ヶ浜町の1市3町1村からなりたちます。

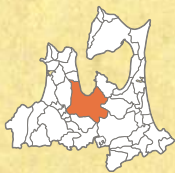
青森県の中心地域として、産業・経済・交通・文化において県全体をもけん引するまさに右腕と力こぶにあたります。また、青森圏域連携中枢都市圏として、お互いに協力し、地域住民が安心して暮らせるようにスクラムを組んでいます。

index

- 1 青森 東青地域はこんなところです
- 2 青森市移住者紹介
- 3 平内町移住者紹介
- 4 今別町移住者紹介
- 5 蓬田村移住者紹介
- 6 外ヶ浜町移住者紹介

あおりし

青森市



市街地と自然が融合する県都

県都として行政・経済の中枢を担い、都市機能が集積されている青森市。八甲田連峰や陸奥湾などの美しい自然、りんごやホタテなどの豊富な食材に加え、青森ねぶた祭や三内丸山遺跡などに代表される歴史や文化の薫り高いまちでもあります。また、起業・創業など「しごと創り」への支援も充実しています。

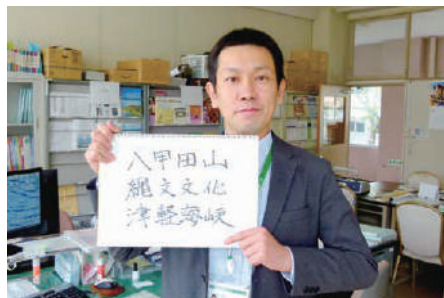
人口 278,964 人、世帯 136,457 世帯(R2.3.31 時点)

企画調整課
青森市中央 1-22-5 TEL 017-734-5168(直通)
メール: kikakuchousei@city.aomori.aomori.jp
HP: www.city.aomori.aomori.jp



大学入学時から演劇中心の生活となり、学生向け演劇ワークショップや旅公演、プロデュース公演を行っていました。30歳の頃、現在の学校法人から演劇部立ち上げで声をかけてもらったことが、再び青森市に住むきっかけとなりました。当時、「演劇は学校力を計るバロメーター。演劇を作れる学校にしたい。」という理事

将来は理科の教員を目指そうと大学に入学したことがきっかけで、一度青森市に住みましたが中退。その後は1年ほど日本縦断をしていました。様々な地域を歩きましたが、今振り返ると、私にとっては青森市が一番です。出身の小樽市は山・海・坂のまち。青森市はそんな生まれ育った場所に似ていることから心が落ち着き、魅かれるのかもしれません。



青森大学付属総合研究所 職員
荳森由介さん(北海道小樽市出身)

やっぱり青森市。青森で、青森の人たちとモノづくり・コトづくりをしたい！



学生との活動はとても楽しいです！



現在も演劇活動を頑張っています！

移住をお考えの方へメッセージ

青森市には天然のアクティビティがいっぱい。山、川、海、文化をぜひ体験してほしいですね。



長(当時)の想いのもと、高校で全校生徒参加型の舞台制作が行われました。当初は生徒とのトラブルが続出し不安でいっぱい。それでも稽古が進む中で、お互いの理解が深まり、ここぞしか創れない素晴らしい舞台になっていきました。最後は、みんなとてもよい顔をしていました。関わって本当に良かったなと思いました。

演劇は初めての人たち、初めての組み合わせの中で、関係が進み、パフォーマンスがどんどん変化していくところが好きです。今一番の楽しみは学生の皆さんと関わることで。若い人たちと一緒に、何かをつくることに日々のやりがいを感じます。今後も挑戦を続けながら、学生たちと関わっていけるように頑張りたいですね。



COFFEEMAN good
店主 橋本雄大さん(青森県青森市出身)
有里さん(神奈川県横浜市出身)

当時、帰省の度に訪れていた『COFFEEMAN good』青森にはエスプレッソマシンを扱えるバリスタが殆どおらず、思うような運営ができずオーナーは悩んでいました。『自由にお店を運営したいので、青森に帰ってコーヒー屋をやってみませんか?』この言葉

現在の仕事のきっかけは、東京に住んでいた頃街歩きで出会った一杯のコーヒー。今までのコーヒーとは全く違う味わいに衝撃を受けました。ちょうどその頃、スペシャルティコーヒーの専門店がオープンするという求人を見つけ応募し転職。お店には経験豊富な先輩バリスタがいて色々教えてもらいました。コーヒーの競技会にも会社の代表で出場するようになり『いつか自分のお店を持ちたい』そんな気持ちが芽生えました。



コーヒー文化のレベルアップ頑張ります！



お店の人気メニュー「カプチーノ」

移住をお考えの方へメッセージ

自分ががんばっていることがあれば、青森は自分の力を活かせる場所かもしれません！



一杯のコーヒーを通して、これからも人と人の繋がりを大切にしていきます。『コーヒー飲料消費量』が全国一位になった青森を今度は『コーヒー消費量』日本一に。青森のコーヒーカルチャーやバリスタのレベルアップにも貢献していききたいです。

と熱意に動かされ、夫婦で移住を決意。1年後にお店をリニューアルと言う形でオープンしました。妻は、はじめての環境や経験のない仕事に当初戸惑っていましたが、現在は地元のお客様の優しさに支えられて『青森は人があたたかい』と感じてくれています。

一杯のコーヒーと人との関わりを通して
地元を盛り上げたい！

ひらないまち 平内町



養殖ホタテ水揚げ高日本一

県のほぼ中央に位置し、北方は陸奥湾に夏泊半島が突出し、美しい海と山に囲まれた自然豊かな町です。また、地域住民の交流も盛んで、子育て環境の充実にも取り組んでいます。

人口 10,791 人、世帯 4,907 世帯(R2.3.31 時点)

企画政策課 企画政策係
東津軽郡平内町大字小湊字小湊 63 TEL 017-718-1325(直通)
メール: kikaku@town.hiranai.aomori.jp
HP: www.town.hiranai.aomori.jp



「さらに修行をしたいー」との思いで新たなパン屋の門を叩くことを決意。ありがたいことにお店のシェフは経験の少ない私を採用してくれ、生地づくりからすべてを教えてくださいました。やがて

(笑)。
そんな中、日中のアルバイトをしていたのが「パン屋」。担当は製造。釜の前で焼いたり成形したりの毎日でした。一緒に働いていた方が大のパン好きだったこともあって知識もふくらんでいきましたね。気が付くとパンづくりの面白さの方にはまっていた

地元の高校を卒業し目指したのは以前から興味のあった「写真」。お金を貯めていざ上京。神奈川の夜間の専門学校に通いました。土日は少年野球などの遠征にも帯同して撮影していましたね。



Panya ichico
代表 長尾優子さん(青森県平内町出身)

家族の温かさに感謝
愛される地元の「パン屋」さんに!

そのシェフが鎌倉に本店。家族経営のパン屋の中で働くことに。日々の生活の中でお店のご家族、来店するご家族の温かさにふれることでいつしかさみしさを感じるようになっていました。将来を考えるとホームシックになって平内に戻ったんです。

戻ってからすぐには創業の思いはありませんでした。ひとりで始める不安もあったので。そんな中、後押ししてくれたのが家族でした。自宅を改装し創業してから、おかげさまで10周年。その10年の中で、結婚をし子どもも生まれました。今は温かい家族の応援が支えになっています。「手作りパンの「パン屋」って素敵!」と皆さまに感じてもらえるよう、これからも真面目なパンづくりを続けていきます。



地元の農園さんコラボ
夜越し山ほうれん草スコーン



お店はかわいい
雰囲気ですよ!

移住をお考えの方へメッセージ

地元を出てわかることも多いですね。改めて地元の自然のよさを感じます。帰ってきてよかったです!



農業をはじめ始めるきっかけになったのは休みに地元に帰ってきた時のこと。体づくりのために近所をランニングしていたところ普段と違う景色が目にとまりました。幼い頃から広がっていた田んぼの景色が変わっていたんです。休耕田が増えていた姿に、なんとも言えないさみしさを感じましたね。同時に農家を営んでいた

地元に戻る前は陸上自衛隊の自衛官でした。自衛隊では建設部隊に所属。戦地や被災地での主力部隊を前に進めるための支援として、重機に乗って撤去作業をしたり道路を作る仕事に従事していました。東日本大震災や南スーダンへの現場に向かうこともありましたね。妻や子どもと離れて暮らすこともあったので、当時は家族にはいろいろ心配をかけたなと思います。

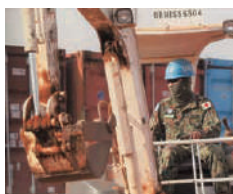


マルサンファーム
代表 田邊真太郎さん(青森県平内町出身)
絃子さん(青森県田子町出身)

自衛隊から農家へ
地元の未来を育てていきたい!

親戚のおじさんのことを思い出した。「おじさんには後継ぎがない」「農地はこれからどうなっていくんだろう」それから2年間自分の中で将来を考えるようになり、安定した生活から不安定な生活へ。子どもも小さかったので不安もありましたが、おじさんとも話し新たな道を決意し地元へ戻りました。

そして今年個人事業主として農家デビュー。現在はおじさんと米づくりを行い、自分ではピーマンの生産・出荷も始めました。将来は法人化も目指しています! 未来に向けて田んぼも人も増えてくれればうれしいですね。あ、子どもも継いでくれたらうれしいですよ(笑)。



自衛隊の頃は
建設部門でした!



ピーマンは自作!
出荷もしています!

移住をお考えの方へメッセージ

地元に戻った時にふと足もとを見つめてみると、何かを発見することができそうですよ!

